



博物館ニュース「SHŪ」

NO. 38

“SHU” Tamagawa University Education Museum News

2012年3月20日

玉川大學教育博物館



目次

追悼	2
新収資料紹介・ 資料をご寄贈いただきました	3
報告	4
ミュージアムグッズのご紹介・ 質問です	5
開館カレンダー・ 利用案内	6

深鉢 東京都町田市本部台遺跡出土

器高 37.8 × 口径 22.2cm 縄文時代中期（勝坂3式）

玉川学園構内に所在する本部台遺跡の、4号住居址出土の土器です。無文の口縁の下に算盤珠状に張り出した胴部が続き、胴上部には、隆帯と沈線で渦巻きを主とする文様が施されています。口縁部には、特徴的な左右非対称の異形把手が付けられており、向って右の把手は、何か動物のようなものが土器の内部に向かい、大口をあけているようにも見え、左の把手はとぐる状になっています。別の遺跡から出土した同様の土器を見ると、右側の動物は猪を表しているとみられます。左の把手は、蛇である可能性があります。また、土器の本体が猪の胴体で、右の把手を頭部、左の把手を尾と見立てることもできそうです。（菅野）

追悼 小原哲郎先生と教育博物館

昨2011年6月28日、玉川学園・玉川大学名誉総長の小原哲郎先生が逝去されました。当館が現在あるのは、先生のご指導とご尽力によるところが大きく、ここに追悼の意味をこめて、哲郎先生と教育博物館との関わり的一端をご紹介します。とおきたいと思えます。

子ども・学生達がホンモノに触れる場として校内に教育博物館を設置することは、玉川学園創立者小原國芳先生の夢でした。当館前身の小資料室を、博物館に発展さ

せることを念願しつつ世を去った創立者の夢を受け継ぎ、小原國芳生誕100年を記念してこれを実現させたのが、小原哲郎先生でした。現施設を整備する際は、工事の折々や展示の準備段階で、先生はしばしば現場に直接足を運び、より良いものとするための種々の指示をされました。

先生はまた、優れた審美眼の持ち主で、当館のコレクション、特に美術資料の収集にも大きな役割を果たされました。代表的な美術コレクションは、先生の決断によって収集されたものが少なくありません。当館の誇る日本屈指のイコンのコレクションは、創立者が展覧会でイコンを見て感動し、玉川でも収集したいと夢見たのが契機ですが、当時すぐには入手することができませんでした。その後哲郎先生は、学園創立50周年を迎えた折に記念基金を用意し、教育設備充実の一環として博物館資料の収集を進められました。そこで中心となったのが、宿願であったイコンを主とするキリスト教絵画の数々でした。また、19世紀イギリスの鳥類学者ジョン・グールドが制作した、非常に精細で美しい図版をもつ一連の大判鳥類図譜に着目し、その収集を主導したのも先生でした。古書のため出物があるたびの収集で、現学長、小原芳明先生にも引き継がれた長期間を要する取り組みでしたが、図譜の全冊を所蔵するのは国内で当館が唯一という、優れたコレクションになりました。さらには近現代美術の作品群にも、先生の眼識と人脈によって収集されたものが少なくありません。

現在の博物館施設の開館にあたり哲郎先生が書かれた文章が、学園の機関誌（『全人教育』1987年6月号）に掲載されており、そこには、当館の意義が次のように述べられています。

「創立者小原國芳は『全人教育』を實踐してゆく中で、先人の文化遺産からその本質を学び、ホンモノ（実物）に直接触れ体得することの大切さを常々説いておりました。私共は、この創立者の精神を尊重し、日常の教育活動のかたわら教育関係を主体とする資料の収集に心掛けてきました。」「昨今の文化状況は極めて表層的・刹那的であり、学生・生徒たちは、じっくりと人類の文化遺産に接しつつ学ぶことを忘れがちであります。『故きを温ねて新しきを知る』ことは、教育的にみて大変大事なことであり、その意味で本教育博物館開館の意義も深いと自負しております。と同時に、これを機に教育内容が一層充実し、学習の向上を図れますことを何よりの喜びとしております。」

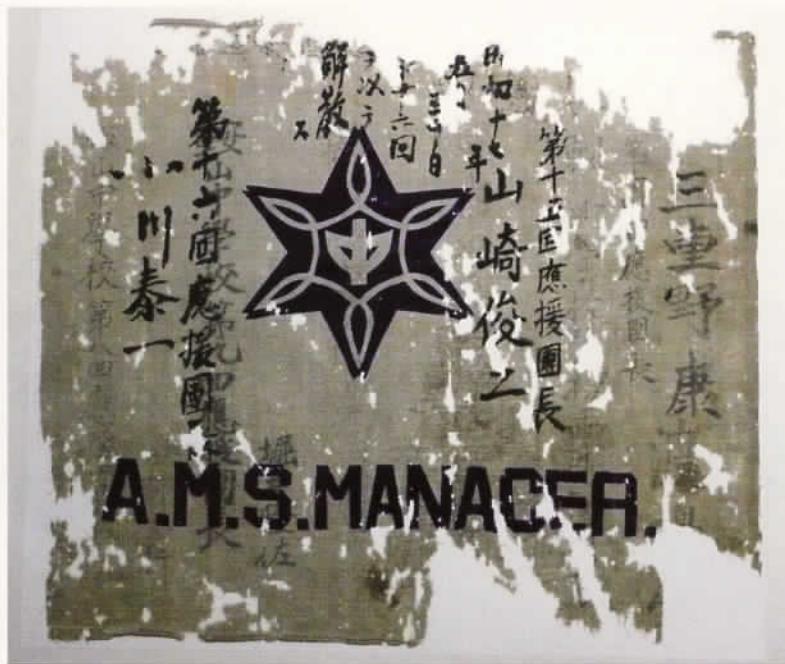
当館では、こうした小原哲郎先生の志を継ぎ、より一層活動を充実発展させていきたいと思っています。

（文責：菅野和郎）



当館開館式当日の小原哲郎先生（中央）
1987年5月9日

新収資料紹介 鞍山中学校応援団 団長旗



鞍山中学校は1923（大正12）年5月、満洲の鞍山に開校しました。本資料は鞍山中学校の応援団団長に受け継がれてきた「団長旗」です。

「団長旗」から三重野康（14回）、山崎俊二（15回）、小川泰一（16回）等の団長名が読み取れます。三重野康氏は後に日本銀行総裁に就任された方です。最後の団長となったのは小川泰一氏で、終戦時海軍に在籍し当地に不在でした。「団長旗」は、小川氏の御母堂が引揚時に持ち帰られました。息子が「団長旗」を大切にしていたことをよく知っておられたのでしょうか。

三重野氏が団長時、ラグビー部が全国中等学校ラグビー大会満洲予選大会で優勝しました。さぞや「団長旗」を振ったことでしょう。「団長旗」は満洲で過ごした旧制中学生の青春の日々を知らせてくれます。（白柳弘幸）

木綿（裏打補修） 29.5 × 25.3cm 製作年不詳

資料をご寄贈いただきました（敬称略 2011年9月～2012年1月）

中西 敦男	同窓会報	1点	原田 青児	同窓会報	12点
後藤 黎子	同窓会報	1点	黒萩 泰弘	同窓会報	1点
坂本 忠夫	書籍	1点	池田 光隆	教育史関係資料等	59点
松村 和郎	教育史関係資料等	一括	門脇 美穂	教育史関係資料等	一括
大石美恵子	同窓会報	2点	岡田 晃一	教育史関係資料	3点
早川 一昭	書籍	7点	子島 寛	教育史関係資料	39点
石毛 保	教育史関係資料等	41点	正木 貞雄	書籍	1点
高橋 健男	書籍	1点	與世田 勉	同窓会報	1点
西 源造	教育史関係資料等	69点	小笠原良一	教育史関係資料等	21点
平峯 克	同窓会報	2点	岸 恒雄	同窓会報等	2点
増田 博行	書籍	1点	首藤 元男	同窓会報	1点
河合 明博	同窓会報	4点			

ありがとうございました

報 告

ミュージアム・コレクション展

2011年10月24日から2012年1月27日まで、企画展「ミュージアム・コレクション展2011」を開催しました。これは、当館で所蔵する美術資料のうち、従来展示する機会があまりなかった作品、近年ご寄贈いただいた作品と、キリスト教絵画の主だったものを中心に、合計45点を展示したものです。会期中の11月18日・12月9日・1月20日には、ギャラリートークを実施しました。会期中の入館者は2,037名でした。



ギャラリートーク（1月20日）

原爆被災資料展

2012年1月16日から2月10日まで、「歴史に学ぶ Hiroshima からわたしたちへ」を、玉川学園 K-12（幼小中高）社会地歴公民科と当館の共催で開催しました。これは近代史や国際政治、そして平和について学ぶ授業にあわせて開催した展覧会で、広島平和記念資料館から被災資料15点と解説パネル類のセットを借用して展示しま



展示を利用した中学3年生社会の授業

した。本展は、K-12部門との連携により、授業で当館を活用した教育活動の一環として実施したものです。玉川学園の児童生徒を中心に、845名の見学者がありました。

博物館実習

通信教育部「学芸員スクーリング」26名
2012年2月6日～11日



実習風景

資料の貸し出し

- ・西南学院大学博物館（福岡）「イコン—東西聖像画の世界—」（11/2～12/10）
「十字架イコン」等 18点
- ・町田市立博物館（東京）「本町田遺跡と町田の縄文時代—本町田遺跡公園リニューアル・オープン記念—」（3/20～5/6）
町田市常盤台遺跡出土注口付深鉢等 8点

統計（2011年4月～9月）

本館

開館日数 112日 入館者数 3745名

収集

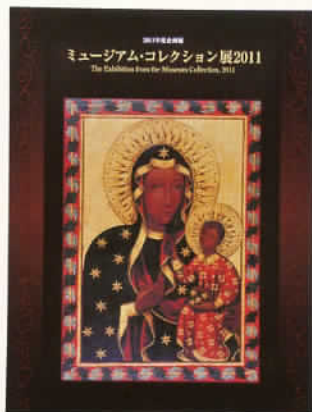
〔資料〕	日本教育史	72件
	芸術	2件
〔図書〕	和書	305冊
	洋書	0冊
〔定期刊行物〕	和雑誌	34冊
	洋雑誌	14冊

分室

利用者	0名	資料提供	0件
収集	玉川学園関係		75件

ミュージアムグッズのご紹介

今年度新たに製作した当館のミュージアムグッズをご紹介します。



①企画展『ミュージアム・コレクション展 2011』図録

同展で展示した古代ローマ時代の作品2点、イタリア宗教絵画5点、イコン14点、20世紀以降のイタリアと日本の絵画18点、彫刻4点、工芸2点を紹介しています。

フルカラー A4変型判 48ページ 800円(税込)

②絵葉書

上段左から 聖母子像・ホディギトリアの聖母子・聖母子(ホディギトリア型)・三本手(トリケルーサ)の聖母・聖母子(ニコポイア型)

① 下段左から カサウカヤの聖母マリヤ・戴冠の聖母マリヤ・観想の聖母マリヤ・聖母子像

イコン7点、イタリア宗教絵画2点が加わり、当館の絵葉書は、グールド鳥類図42種、イコン18種、イタリア宗教絵画4種、その他の美術品等3種となりました。価格は各100円(税込)です。



③作品シート(用紙サイズ23.6×30.0cm)

上段左から 聖母子像・観想の聖母マリヤ・フェオドロフスカヤの聖母(エレウーサ型)

下段 薔薇の聖母

価格は各200円(税込)です。



既刊のものを含め、当館の図録やミュージアムグッズは、教育博物館のほか、玉川学園購買部〔キャンパスストア〕でも販売しています(玉川の在学生・教職員は割引価格になります)。購買部では通信販売の取扱いもいたします(問合せ(購買部)042-739-8945)。ぜひご利用ください。

質問です

Q. 米国教育使節団とは何ですか。また、同使節団と玉川学園との関わりについて教えてください。

A. 米国教育使節団とは、太平洋戦争終戦後に日本の教育の実情を調査するために米国より派遣された、教育者や教育行政官の調査チームのことを指します。米国教育使節団は、第1次使節団と第2次使節団がありますが、日本の教育に大きな影響を与えたのは、1946(昭和21)年の第1次使節団の方です。第1次使節団の報告により、6・3・3制、男女共学、社会科、PTAなどが日本の教育現

場で採用されたとされています。

第1次教育使節団の団員3名(ミシガン大学教授トロウ博士、中央ミズーリー州立教員養成大学学長ディーマー博士、スタンフォード大学教授ヒルガード博士)が、1946年3月26日に玉川学園を参観しました。一行は、玉川学園の教育活動や労作教育、特に音楽、舞踊、体操の授業を参観して喜んだと言われています。また、玉川学園では師弟関係がとても親しい点に、魅力を感じたそうです。現在、玉川大学教育博物館第1展示室には、一行が玉川学園を見学した時に撮られた写真が展示されています。(宇野慶)

2012年度4月～9月 開館カレンダー

2012年 4月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

5月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

6月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

7月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

8月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

9月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30						

休館日

第1展示室(日本教育史)のみ公開

※上記期間の展示内容は、日本教育史及び美術を主とする常設展示です。

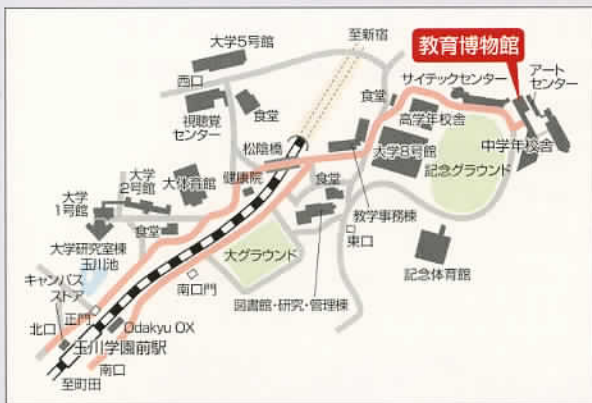
※この予定は、電力事情、年間学事計画等により変更することがあります。

詳細は当館ホームページをご覧ください、電話等にてお問い合わせください。

企画展予定 2012年11月5日(月)～2013年1月27日(日)(予定)

「石に描かれた鳥たち—ジョン・グールドの鳥類図譜」展

(詳細は次号でご紹介します。)



利用案内

開館時間 午前9時～午後5時

(入館は午後4時30分まで)

休館日 日曜日・土曜日・祝休日・玉川大学の定める休日・展示替期間

(日曜日・土曜日及び祝休日に大学の通常授業や学校行事が行われる場合、当館も臨時に開館することがあります。詳細はお問い合わせください。)

入館料 無料

交通手段

小田急線「玉川学園前」駅下車 徒歩15分
駅南口を出て、線路沿いの道を新宿方向に進むと、玉川学園の校門(南口)に行き当たります。博物館の建物の位置は、校門の案内所でお尋ね下さい。

(来館者用駐車場はありません。また校内での園児・児童・生徒・学生の安全のため、お車での来館はご遠慮下さい。)

博物館ニュース SHŪ No.38

2012年3月20日

編集・発行 玉川大学教育博物館

〒194-8610 東京都町田市玉川学園6-1-1

TEL 042-739-8656 FAX 042-739-8654

www.tamagawa.jp/research/museum/

『SHŪ』とは『集』、さまざまな「集められたもの」をめぐり、多くの人々の「集いの場」になることを目指して名づけたものです。